

日進市長 萩野 幸三 様

日進市における「道の駅」整備の推進について

あいち尾東農業協同組合は、地域に根差した協同組合として、安全・安心な農畜産物をお届けし、「持続可能な地域農業の振興」「健康で豊かな地域づくり」などを目指して、日々取り組んでおります。

しかしながら、昨今の農業を取り巻く環境や情勢は厳しく、全国的に直面している後継者や担い手の確保、耕作放棄地対策などの課題は、日進市を含む当組合管内においても例外ではありません。日進市においても、平成21年度に「日進市田園フロンティアパーク構想基本計画」を策定し、積極的に農業振興施策に取り組んでいただいているところですが、当組合としても、今後も引き続き課題解決に向けて努めてまいりたいと考えております。

そのような中、現在日進市が整備を進めている「道の駅」は、一次産業者の販路拡大につながるとともに、特産物、名産品等の商品開発等の機会の創出、支援を図るための場としての活用が期待される場所でもあります。また、平成30年2月に策定された「日進市道の駅基本計画」においては、重点的に取り組むべき地域課題として農業振興が掲げられており、その計画地が田園フロンティアパーク構想の拠点施設に隣接していることから、「道の駅」の持つ機能との一体化による相乗効果も期待される場所でもあります。

多くの市民や来訪者が集い、情報発信機能等を備えた「道の駅」は、地域農業の振興や豊かな地域づくりを目指す当組合にとっても欠かせない重要な施設となるものと考えておりますので、日進市における「道の駅」の早期整備を要望いたします。

平成30年4月26日

あいち尾東農業協同組合

代表理事組合長 石黒 秀三

印

